

授業概要

本講義は、国際社会での文化的理解や効果的なコミュニケーション能力を高めることを目的として講義する。現代のグローバル化社会では、異なる文化や価値観を理解し、尊重することが重要である。この授業では、国際的なマナーやプロトコルの基本を学び、実際の場面で適切に行動できる能力を養う。理論的な部分と実践的な部分の両方を含み、ケーススタディやロールプレイを通じて実際に役立つスキルを習得できるように展開する。

授業計画

第1回	イントロダクションと国際教養論の基礎 ★国際教養とは何か ★異文化理解の重要性
第2回	国際社会とグローバル化の進展 ★グローバル化とは ★世界の文化的多様性 ★グローバル社会で求められるスキル
第3回	異文化理解のための理論と実践 ★異文化コミュニケーションの理論 ★言語以外のコミュニケーション（ボディランゲージ、表情、声のトーン） ★文化の違いに対する感受性を高める方法 ★文化の違いによる誤解を避ける方法 ★実際の異文化交流のケーススタディ
第4回	国際的なマナーとプロトコルの基本 ★マナーとプロトコルの違い ★国際的なエチケットの基本 ★日本と他国のマナーの違い ★地域ごとの文化的違い（例：アジア、ヨーロッパ、アメリカなど） ★国際的な礼儀作法や相手を尊重する方法
第5回	国際的な公式な場でのマナーとプロトコル ★ビジネスシーンにおける国際的なマナーとプロトコル ★外交、国際会議のマナーとプロトコルのルール ★招待状の書き方やイベントの進行方法 ★儀礼的な挨拶や順位の扱い方、名刺交換、会話の仕方、服装
第6回	日本と西洋文化におけるマナーの違い ★日本のマナー文化 ★西洋文化のマナーと日本文化との違い ★お互いの文化を尊重する方法
第7回	宴席でのマナーとプロトコル ★フォーマルな食事の席でのマナー★食事の順序、テーブルマナー★国際的な宴席でのエチケット
第8回	宗教と文化に配慮したマナー ★世界の主な宗教とその文化的背景 ★宗教的配慮が必要な場面 ★宗教に関連する食事や服装のマナー
第9回	ジェンダーと国際的なマナー: ★性別によるマナーの違いと理解 ★多様性を尊重したコミュニケーション
第10回	交渉とコミュニケーションのマナー ★異文化間での交渉術 ★非言語コミュニケーションとその重要性 ★言語の壁を超えるためのスキル
第11回	ホスピタリティとおもてなしの国際的側面 ★日本の「おもてなし」の概念 ★国際的なホスピタリティ文化の違い
第12回	国際的なビジネスマナー（文化ごとのビジネススタイルの違い） ★グローバルビジネスの場で求められる会話、服装、挨拶、立ち振る舞い ★エレガントなビジネスマナーの習得 ★文化に応じた柔軟な対応 ★国際的な取引や交渉時の注意点
第13回	特別ゲストによる国際的なマナー講座 ★海外でのプロトコル経験者による体験談
第14回	実践的なマナープロトコルのトレーニング ★実際のシーンを想定したロールプレイ
第15回	実践的なマナープロトコルのトレーニング ★実際のシーンを想定したロールプレイ
第16回	学期末試験

到達目標

- ・学生が異文化に対する理解を深め、国際的な場での適切な行動ができる。
- ・グローバルな社会において、他国の文化や習慣を尊重しながら円滑にコミュニケーションを取る力を身につけることができる。

履修上の注意

学生と講師によるディスカッションを本講義では大切にしたいと考えている。

予習・復習

★事後学習として、授業で取り上げるケーススタディに関する課題レポートを課す。★企業を取り巻くグローバル経済・社会の最近の動向について、新聞記事・テレビでニュース・インターネット等を活用し企業の経営活動や経営戦略を定期的にフォローすること。★関心のある企業の「経営戦略」（多くの企業で「中期経営計画」として企業のホームページでの「企業情報」や「IR（投資家向け情報）」に公表されている）を読み（ホームページで閲覧可能）、専門用語等についての理解を深めておくことが望ましい。

評価方法

- 1) 学期末試験(50%) 2) プレゼンテーション(40%) 3) リアクションペーパー(10%)

テキスト

・教科書名：『さすが!と言われる ビジネスマナー 完全版』
 ・著者名：高橋書店編集部・出版社名：高橋書店・出版年（ISBN）：2010（978-4-471-01125-3）
 また、教員オリジナルの資料も使用する。実際の経営資料等も含まれるため事前配布は行わない。必要に応じて、授業後に配布可能なスライドを配布する。